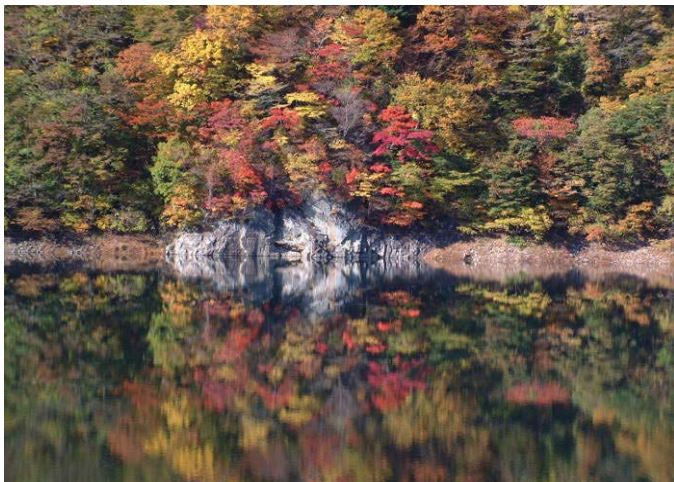


観光社会資本の事例

テーマ	目にも鮮やかな紅葉を湖面に映す広瀬湖	
【施設の状況写真】		
		
湖面に奥秩父山系の見事な紅葉を映す広瀬湖。県内外でも絶好の紅葉スポットの一つとされている。		奥秩父最後の秘境と言われる西沢溪谷がすぐ近くにある、山梨県初の多目的ダムを見に来る観光客も多い。
【施設の利用写真】		
		
広瀬ダムは、紅葉のシーズン以外でも四季折々の景色が楽しめ、夏休み期間中は下流域の子どもたちが数多く訪れる。		ダム本体の右岸側に設けられた多目的広場には、せせらぎ水路や小さな滝があり小さな子どもも楽しめます。
【観光資源としての利用状況】		
広瀬ダムは、山梨市はもとより笛吹川流域の市町村に多方面にわたり多大な効果をもたらしました。観光面においても、奥秩父の紅葉を湖面に映す広瀬湖とともに、すぐ近くには21世紀に残したい日本の自然100選、森林浴の森・日本100選、日本の滝100選(七ツ釜五段の滝)にも選ばれている西沢溪谷があり、本県の貴重な観光資源となっています。また、ダム本体の両岸に多目的広場が設けられており、訪れた人々がゆったりと憩えるように工夫されています。		

テーマ	目にも鮮やかな紅葉を湖面に映す広瀬湖
【社会資本の基礎データ】 ○ 名称 広瀬ダム ○ 所在地 山梨県山梨市三富上釜口篠平1178-1 ○ 事業名 河川総合開発事業 ○ 事業主体 山梨県 ○ 事業期間 昭和44年～昭和50年	
【社会資本の役割・効果】 利水効果 笛吹川流域の山梨市、塩山市をはじめとする地方公共団体は、全国的にも有数の果樹地帯(ぶどう、もも)であり、広瀬ダムの完成により安定したかんがい用水の確保が図られ、およそ4,180haの耕地に営農用水が供給され、生産性が向上し農業経営が安定した。また、この地域の水道水源として、およそ15万人の生活を支える水ガメとなっている。 治水効果 笛吹川流域では、明治40年の大洪水をはじめ昭和41年等の洪水災害が発生してきたが、広瀬ダムの完成により洪水の最大流量が低減され、浸水被害は発生していない。	
【位置図】	
【関連ホームページ】 ダム湖関係 http://www.pref.yamanashi.jp/doboku/damu-hskg/	